

**新型コロナウイルス感染症  
対応に関する緊急要望**

**令和2年(2020年)4月20日**

**熊本市長 大西 一史**

## 家畜伝染病対策用防護服のコロナウイルス感染症対策 への提供の体制の早期構築

### 緊急要請事項

- 一、コロナウイルス感染症の感染者が急増し、その対策用の防護服が入手できない状況にあることから、コロナウイルス感染症対策用の防護服の供給が安定するまでの間、家畜伝染病対策用の防護服をコロナウイルス感染症対策用の防護服に転用するなど国レベルの仕組みを早急に構築すること。

### 【現状・課題】

- ・熊本市では、4月19日現在、32名のコロナウイルス感染症の陽性患者が確認されているが、そのうち20名が4月に入ってからのものであり、感染の拡大が進んでいる。
- ・そのような中、感染症指定医療機関をはじめ、今後感染者の受け入れを表明している医療機関では、医療行為に欠かせない防護服が、全国的な供給不足の影響で枯渇する危機的な状況にある。
- ・4月6日付厚生労働省事務連絡ではマスク、個人防護具、人工呼吸器等の必要な物資の国の責任による確保について通知されているが、サージカルマスクを除いては供給が十分に進んでいない状況である。
- ・本市唯一の感染症指定医療機関では、特に防護服・アイソレーションガウンの備蓄が危機的な状況であり、2週間程度で底をつく見込みである。
- ・本市においては、このような状況を鑑み、当該指定医療機関と協議を行い、本市が保有する家畜伝染病対策用の防護服360着をコロナウイルス感染症対策用に転用することとした。
- ・家畜伝染病対策用の防護服については、現在、熊本県において鳥インフルエンザ病対策として、10万羽分を処理するための備蓄があり、家畜伝染病が発生し、防護服が不足する場合には、農林水産省等から防護服が提供されることとされている。
- ・防護服が不足すれば、今後新型コロナウイルス感染者の診療ができなくなる恐れがあることから、家畜伝染病対策用の防護服を国から都道府県を通じて政令市等に提供するような国レベルの仕組みを早急に構築していただくよう要請する。

## 【客観的根拠】

### 1 感染症指定医療機関（24床）の備蓄数（4/20時点）

物資名	備蓄数（残日数）
防護服（つなぎ）・アイソレーション ガウン	4,290 着（16日）

### 2 感染者を受入れる医療機関（42床）【市内5医療機関】の備蓄数（4/9時点）

物資名	備蓄数（残日数）
防護服（つなぎ）・アイソレーション ガウン	7,680 着（16日）

※防護服・アイソレーションガウンの残日数については、1日1床あたり必要数11.17枚（感染症指定医療機関実績値）で試算。

### 3 熊本市の家畜伝染病対策用防護服の備蓄数（4/20時点）

物資名	備蓄数
家畜伝染病対策用防護服	360 着

### 4 熊本県の家畜伝染病対策用防護服の備蓄数（4/20時点）

物資名	備蓄数
家畜伝染病対策用防護服	18,000 着

## 感染症指定医療機関等への防護服・アイソレーション ガウン・N95 マスク等の緊急供給

### 緊急要請事項

- 一、感染症指定医療機関をはじめ、感染者を受け入れる医療機関が所有する感染症患者の医療行為に係る防護服・アイソレーションガウン・N95 マスク等が枯渇する危機的な状況にあるため、当面必要とする物品について、可及的速やかに緊急供給すること。

### 【現状・課題】

- ・ 感染症指定医療機関をはじめ、今後感染者の受け入れを表明している医療機関では、医療行為に欠かせない物品（防護服・アイソレーションガウン・N95 マスク等）が、全国的な供給不足の影響で枯渇する危機的な状況にある。
- ・ 3月13日付厚生労働省事務連絡ではマスクの医療機関への優先配布、4月6日付厚生労働省事務連絡ではマスク、個人防護具、人工呼吸器等の必要な物資の国の責任による確保について通知されているが、サージカルマスクを除き、供給が十分に進んでいない状況である。
- ・ 本市唯一の感染症指定医療機関では、防護服・アイソレーションガウンの備蓄が危機的状況であり、2週間程度で底をつく見込みである。
- ・ なお、N95 マスクについては、「N95 マスクの例外的取扱いについて」（4月10日付厚労省事務連絡）に基づき、1人1日1枚の使用制限に取り組んでいる。
- ・ また、重症者以外については指定医療機関から他の医療機関へ転院を進めているところであるが、このことにより、これらの医療機関においても防護服、マスク、ゴーグル等の備蓄量が逼迫することになる。
- ・ 現在の状況が続けば、今後新型コロナウイルス感染者の診療ができなくなるばかりか、通常の診療もできない状況となるため、可及的速やかな国の緊急供給を要請する。

## 【客観的根拠】

### 1 感染症指定医療機関（24床）の備蓄数及び追加要望数（4/20時点）

物資名	備蓄数（残日数）	追加要望数
防護服（つなぎ）・アイソレーション ガウン	4,290 着（16日）	28,600 着/110日
N95 マスク	6,800 枚（68日）	6,000 枚/60日

※感染症指定医療機関として36床を確保しているが、本緊急要請では重症患者対応24床のみを要望。

※当面4ヶ月分として必要数を追加要望。

### 2 感染者を受け入れる医療機関（42床）【市内5医療機関】の備蓄数及び追加要望数（4/9時点）

物資名	備蓄数（残日数）	追加要望数
防護服（つなぎ）・アイソレーション ガウン	7,680 着（16日）	51,600 着/110日
N95 マスク	5,630 枚（32日）	15,700 枚/90日
ゴーグル又はフェイスシールド	2,170 個（12日）	19,200 個/110日

※防護服・アイソレーションガウンの残日数及び要望数については、1日1床あたり必要数11.17枚（感染症指定医療機関実績値）で試算。

N95マスク、ゴーグル・フェイスシールドの残日数及び要望数については、1日1床あたり必要数4.16枚（感染症指定医療機関実績値）で試算。

※当面4ヶ月分として必要数を追加要望。